

# カトリック河原町教会だより

## 2016年9月

### 「平和は神のいつくしみから」 平和旬間を共に 2016.8.7

8月6日から15日は「日本カトリック平和旬間」です。8月7日、10時半の一場神父司式のミサは、平和を祈るミサとしてささげられました。一場神父は説教の中で「現代はいま、世界中がテロの恐怖にさらされた時代であり、データによると2015年のテロ犠牲者数は28,328人とも言われています。こうした現実を受け止め、苦しみの中にある世界の平和を祈ることはキリスト者の使命です。平和は祈りをもって始まり、祈りによって完成されるからです。いつ主が来られてもよいように、目を覚まして、わたしたち一人ひとりが辛抱強く祈り続けていくことが大切です」と語られました。

ミサ後は「平和旬間行事」として、ルカによる福音書からイエスの6つのたとえ話が役員による「朗読劇」で披露され、その後「放蕩息子のたとえ」を中心にして、出席者約80名で「分かち合い」のひとときがもたれました。



ヴィリオンホールでは6日から「『戦争と平和』写真展」(京都教区カトリック正義と平和協議会主催)が開催中でした。アウシュビッツ強制収容所で殉教したコルベ神父と、ビザ発行で多くのユダヤ人を救った杉原千畝の資料、WYDの折に同収容所を訪れた教皇フランシスコのパネル展示などで、平和の尊さを訴え問いかけるものでした。(編集委員)

## 本当に神様は私たちと一緒に

WYD(「世界青年の日」クラクフ大会)に参加するために、関空を出発して約20時間かかって到着したポーランドのキエルチェ教区。WYDはクラクフの本大会と、その前にそれぞれの教区に分けて行う教区大会がありました。その中で私たち日本団体は、キエルチェ教区と共に行動しました。日本語で「ようこそポーランドへ」と言ってくださったキエルチェ教区の神父様。そして、ポーランドには貴重なお客様が来る時は、必ずパンと塩を用意して、家に入る前に塩をつけてパンを食べてから入る習慣があります。まるで、イエス様の御体を分かち合っている一つの家族になれるごミサのように、私たちを大歓迎してくださったポーランドの信者さんの姿は感動でした。

そして、私たちにおもてなしをくださったホストファミリー。彼らは、砂漠に出る客を、自分の財産まで売ってもてなした旧約のアブラハムのような姿でした。そして、一緒にごミサを捧げたり、一緒に遊んだり、一緒に聖地に行ったりしてくれましたが、私たちはポーランド語ができないし、彼らは日本語ができないし、お互いに英語もあんまり通じなかったので、感じた壁は、まるで旧約聖書にある人間の欲張りを形象化したバベルの塔のように、皆が別々になる経験をしました。

しかし、言葉は通じなくても心はつながっていたことは、まるで新約聖書にあるように、イエス様が私たちにプレゼントとして送ってくださった聖霊の恵みで、皆が各地域の言葉で、聞いた出来事を経験することができました。



## 洛東ブロック担当 キム・テジョン神父

そして、約200万人が集まって一緒に捧げた最後のごミサのために、急いでその場所に向かった私たちの姿と、ごミサが終わった後200万人が一緒に交わりながら出発した姿は、まるでエジプトから脱出するため、急いで出発したイスラエルの群衆のようでした。そして、その中で食べものが足りなくて、座る場所が足りなかった私たちに、一緒に分かち合って食べたり、座ったりしたその時間の中では、五千人を五つのパンと二匹の魚で食べさせたイエス様の姿を経験しました。

今回の巡礼は、聖書の内容をそのまま経験することができた時間でした。その中では時々不平も出てしまいましたが、その後で感じたことは、本当に神様は私たちと一緒にいらっしやるということでした。正直言うと、WYDに参加する前には「生まれて初めて行くヨーロッパへの旅」と考えていました。しかし、参加してからは、これはただの外国旅行ではなく「巡礼」だという確信をしました。

自分自身の中にいらっしやる神様の姿を見つけること、そして、聖書の中だけで起きる奇跡ではなくて、私たちの人生の中で、一緒に存在されているイエス様の奇跡を感じることもできました。美しい建物、いろんな人たち、楽しい祭りなど、こんなことはWYDの背景だけだと思います。その中に潜んでいる真心は、自分自身を見つけて、その中で一緒におられるイエス様を感じるのだと思います。

(写真:クラクフ/聖マリア教会)

## 2016年・夏 ～沖縄で学んだこと～教区高校生会

7月25日～28日、京都教区高校生会「沖縄での現地学習、戦争と基地」が実施されました。小立花神父とチェ神父の同行で、高校生8名が参加し貴重な学びの体験となったようです。河原町教会から参加した高校生は2名で、今回の体験学習を終えて、感想文とたくさんの写真を広報部に寄せてくれました。(編集委員)



読谷教会聖堂で交流



美々ビーチの夕陽に感動



沖縄平和祈念資料館

●わたしは平和祈念資料館での戦争を体験した方々の証言が、今回の沖縄体験学習のなかで一番心に残っています。昨年修学旅行で沖縄へ行ったときに事前学習として沖縄の歴史を学んだのですが、そのとき観た沖縄戦の映画の中で死ぬ間際に「天皇万歳」と叫ぶ人がいました。わたしがその人だったら「天皇万歳」なんて最期に叫びたくないし、わたしが天皇の立場でも言われたくないなと思っていました。修学旅行ではその疑問を晴らすことは出来なかったのですが、今回の沖縄体験学習でやっと納得のいく答えを見つけました。わたしが読んだ証言には「死ぬときは皆、お母さんやお嫁さんの名前を叫んで死んでいった」と書いてありました。思っていた通り、叫んでいたのは天皇万歳ではなく、自分の最も大切にしている人の名前でした。ずっと気になっていたことがようやく解決したので、とても満足しました。新しい発見が沢山あった沖縄体験学習でした。参加できてよかったです。(高1・守口真衣)

●ひめゆりの塔、平和資料館、糸数アブチラガマ、とさまざまな場所へ行きました。特に印象に残っているのはガマ(洞窟)での体験です。ガマの中はとても暗く、早く出たいと思うほど怖いものでした。またガイドさんの説明や、当時ガマの中で亡くなっていった人達、ガマの中で働いていた私と歳が変わらない女学生達の、もっと生きたかった、家族に会いたい、という思いが聞こえてくるようで、自然と涙が溢れました。

私が今回沖縄での平和学習で学んだ事は、平和の大切さ、命の大切さです。私は今とても平和に暮らしています。それがどれほど大切な事か心から実感しました。戦争を止めることも、その苦しみを取り除くことも私にはできないけれど、身近な平和、家族や友達の平和を考え、これから生活していきたいなと思いました。沖縄で学んだ事をこれからの生活に生かしていきたいと思います。(高1・研文乃)

## 第33回京都教区中学生 広島平和巡礼を終えて

京都教区では毎年8月に中学生の広島平和巡礼を行っています。今年は第33回目で8月5日～7日、大塚司教と菅原神父、ホセ神父の同行で広島を巡礼、様々な体験に参加し、祈りをささげ、平和について一緒に学び考えてきました。河原町教会からは5名の中学生が参加しました。この巡礼を通して、広島で貴重な体験をした中学生たちの声を聞いてください。(教育部担当者)



広島平和記念資料館前で集合写真

## 広島から見えてきたもの～中学生の感想～

●初めて広島巡礼に参加させてもらいました。初めは知っている人があまりいなかったため、緊張していましたがすぐにみんなと仲良くなりました。この広島巡礼の中で原爆という言葉は何回も聞きました。原爆で広島の人だけではなく、在日外国人の方も被爆されたと聞き、少し驚きました。私はこの巡礼で「原爆で亡くなられた方、今でも苦しい思いをしている方を癒してください。また二度とこのようなたくさんの人を傷つけることが起こりませんように」と黙祷しました。私の思いが伝わりますように。(中1・落合里咲子)

●原爆が投下されたことは社会の授業などで習っていたが、歴史のひとつコマに過ぎなかった。同じ時間、同じ場所に立つこと、そして3日間の体験を通して、僕の中で広島原爆投下は現実のものとなった。今、この事実を冷静に考えるとき、けっして二度と繰り返されてはならないと強く感じる。この体験を学校や周りの友達に伝えて、僕たちが当たり前と思っている平和について、もっと深く考えていかなければならないと思う。(中2・古川智也)

●3年間参加できて、ありがとうございます。改めて友達や周りの人との関わりを大切にすることを強く感じました。争うことは、人が作り出すものだと思います。人が自分の存在に気づいて、自分を理解できれば、他の人を傷つける行為はしないと私は思います。普段の生活で喧嘩するときや人の批判をしてしまうときは、自分の思いを主張するばかりで、その場の感情に流され、言葉にしてしまう自分がいるという事に改めて気づくことができました。言葉に出す前、行動する前に、いま言うべきかを考えるよう心がけたいと思います。その小さな思いを大切にこれからも自分ができることを探せたらと思います。(中3・植月もも)



●3回目の広島平和巡礼に参加しました。今回は、今までの2回とは決定的な違いがありました。それは、済州の中学生がいないということ。最初は彼らがいるのが当たり前のようで、残念だなあと感じましたが、私が今まで交流に夢中になっていた分、今回は、平和について深く考えるいい時間にできたと思います。4年後に、もしチャンスがもらえるならば、再び広島平和巡礼に参加できるよう、今から平和の一步を始めたいと思います。ありがとうございます。(中3・平野有理)

●今回は2回目の参加ということもあったのですが、何よりも修学旅行で行った沖縄でも戦争について学んだので、より深く考えさせられました。今、世界で起こっている争いごととも武力で解決せず、平和的解決ができる社会になっていくことを切に願っていたと思います。私にできることは少ないけど、何か力になりたいと思います。

(中3・前川沙喜子)

## 河原町教会7月評議会議事録要約

2016年7月31日(日)

**司祭団の報告**＝小川神父(YBU所属)のミサ司式担当について、河原町教会のみか、洛東ブロック全体が対象かを次回評議会で検討してほしい。

**洛東ブロック会議**＝合同典礼部会を開催して、司祭座聖堂である河原町教会での2017年聖週間の過ごし方を検討する方向で一致した。(その他は別紙議事録)

**各部会報告**＝(1)**典礼部**＝教区典礼研修会7/16西陣教会で開催、参加者多数。第3回は8/20西陣教会で開催予定 (2)**財務部**＝①7/16部会開催。上半期の会計報告をした。②教会維持費未納・滞納者の対応進行中。2ヶ月以内に具体的対策案を具体化 (3)**教育部**＝①**土曜学校**:①8/8～10の夏の錬成会参加児童は14名。司祭、スタッフ、保護者含め計37名参加予定 ②9/3始業式 ③9/10桃山教会にてクッキー作り ②**中高生会**:①8/5～7の教区広島平和巡礼に5名参加 ②9/4から2学期開始 ③**信徒養成**:①「主日の福音を読む集い」を毎日曜日9:30～10:15開催 ②待降節黙想会11/26予定(指導:カルメル会中川博道神父) ④**洛東ブロック合同教育部会**:①「洛東ブロック年間計画3」の実践で、9/10桃山教会でクッキーを作り9/18敬老懇親会でプレゼント ②「青年のつどい」＝11/27(日)14:30河原町教会にてミサと懇親会 ⑤**教区教会学校研修会**:8/27(土)「子どもたちにぜひ伝えておきたいこと」講師:シスター木村美由紀(純心聖母会) ⑥**キリシタン研究会**:7/14福知山教会、宮津聖堂の巡礼実施 ⑦**ザビエル訪れ会**:高齢ミサ不参加信徒の訪問実施中(4)**施設管理部**＝聖堂建立50周年記念行事に向けた不要品整理に関し、物品保管代表者に連絡が届く態勢を作る。(5)**広報部**＝フェイスブックページの指針を提案、了承された。

**その他報告**＝ぶどうの会から:12/11手作りミニバザー開催予定

**行事予定**＝4ページ行事予定欄に記載

**協議事項**＝(1)平和旬間行事関連:8/7(日)10:30ミサ後に「朗読劇」と司祭の話と分かち合い (2)**敬老感謝ミサと懇親会**関連:①ぶどうの会に協力要請②演奏者がミサ後CD販売をする。③詳細は9月評議会で決定(3)**新聖堂建立50周年記念行事**関連:7/16委員会開催。委員会正式名称は「新聖堂建立50周年実行委員会」、委員長は越知謙之助氏に決定

**その他**＝高山右近列福式関連:申し込み方法の詳細など、決まり次第お知らせする。

### [門の聖句]

「あなたがたを迫害する者のために  
祝福を祈りなさい」(ロマ書12・14)

◇ 2016年9月・10月の行事予定 ◇  
(10月は予定です。変更の場合があります)

月	日	曜日	行事予定
9	4	日	故村上眞理雄神父一年祭追悼ミサ 10:30 評議会9月例会 10:30ミサ後
	14	水	十字架称賛
	18	日	敬老感謝ミサ 10:30 懇親会 10:30ミサ後
	25	日	世界難民移住移動者の日
10	2	日	ブロック司教訪問(山科教会) 9:00 ロザリオの祈り10月毎日曜日 10:00
	9	日	評議会10月例会 10:30ミサ後
	22	土	洛東ブロック会議(於:伏見教会) 14:00
	23	日	世界宣教の日
	24	月	～28(金) 教区司祭黙想会
	30	日	教会美化デー

## 河原町教会 ミサの時間

日曜日 (主日のミサ)

7:00

10:30

\*英語ミサ 12:00 (第2・4週)

月曜日 6:30

火曜日 6:30 18:30

水曜日 6:30 18:30

木曜日 6:30

金曜日 6:30 18:30

土曜日 6:30

18:30 (主日のミサ)

## 比叡山宗教サミット29周年『世界平和祈りの集い』が開催 8.4

聖ヨハネ・パウロ二世教皇は1986年10月27日、イタリアのアッシジにおいて「平和の祈りの集い」を開催しました。アッシジで灯されたこの平和の炎は世界中に広がり、日本でも天台宗の提言と呼びかけにより、毎年8月にこのサミットが開催されています。今年29周年を迎え、8月4日、延暦寺広場に諸宗教代表者と信徒や子どもたちが集い、改めて平和を希求する宗教がもつ、対話と祈りを世界に広めていく役割を再確認しました。

バチカンからは、諸宗教対話評議会秘書局長 シスター・ゾーベランが派遣され、同評議会議長 トーラン枢機卿のメッセージを代読しました。また、桃山教会の女子高校生も代表の一人として平和への思いをしっかりと語りました。(T.R)



シスター・ゾーベラン



大塚司教と高校生



地球儀に折り鶴を入れる生徒たち

## 神の語りかけに心を向ける～「主日の福音を読む集い」～

毎週日曜日、9時30分から「主日の福音を読む集い」が7月から新しく始まりました。その日の福音をじっくりと読んで黙想し、分かち合う集いです。



現在、参加者は7、8名です。参加者からは、「福音を黙想してからミサに与ると、みことばをより理解できるように思います」、「分かち合いを通して、新しい気づきもあり、楽しみな時間です」などの声が届いています。 “どなたでもお気軽にどうぞ”

◆日時:毎週日曜日9:30～10:15 [3階301号室]

## 信仰の学びのお知らせ

## ◇信仰入門講座◇

(1F集会室 / 3F応接室)

火曜日 10:00 (第4・5・祝休) モンロイ神父(1F)

水曜日 10:00 一場 修 神父(1F)

19:00 (第1・祝休) 一場 修 神父(1F)

木曜日 15:00 (祝休) 一場 修 神父(1F・3F)

金曜日 15:00 シスター庄子(3F)

19:15 村上 透磨 神父(1F)

## ◇洛東ブロック信徒養成講座◇

【河原町教会】 第1水曜日 19:00～20:00 一場 神父

【山科教会】 毎金曜日 9:30ミサ後 モンロイ神父

【伏見教会】 毎火曜日 10:00ミサ後～11:30

一場 神父

【桃山教会】 第1・2木曜日 19:30～20:30

一場 神父

## ◇主日の福音を読む集い◇

(3F・301号室)

毎週日曜日 9:30～10:15

※ミサ前にその日の福音を読む集いです。

どなたでもどうぞ。

## ◇南部地区信徒養成講座◇

(1F集会室)

北村 善朗 神父「祈りを学ぶ」

9月8日(木) 14:00

10月6日(木) 14:00

テキスト:『カトリック教会のカテキズム要約』

## ◇レクチオ・ディヴィナ◇

※しばらくの間休会します。「主日の福音を読む集い」にご参加ください。

## カトリック河原町教会だより 2016.9

編集:カトリック河原町教会 広報部 担当司祭:一場 修  
住所:〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423  
電話:075-231-4785 ファックス:075-211-8021  
URL: <http://CatholicKawaramachi.Kyoto>



教会公式ウェブサイト



教会公式フェイスブック